

広報



まつざき

2010
(平成22年)

7

No. 554

ホタルの乱舞（雲見）

5月下旬から6月中旬にかけて、町内各所でホタルの乱舞を見ることができました。

平成21年度 事業会計決算の概要

水道事業会計

平成21年度に給水された総水量は、約101万9,000立方メートルとなりました。全体的に使用量が減少し、前年と比べ約1万7,000立方メートルの減となりました。

収益的収支では、収益が、4月分と5月分の半分が料金改定の対象となったことにより、前年比24万円の増収となりました。一方費用は、職員が1人増員となったものの、水道水水質検査業務委託料が今回の見積り合せて、大幅に減額となったことや、原油価格が安定したことによる動力費の減少などにより、前年比286万円の減となりました。この結果、2,336万円の利益を計上することができました。

資本的支出では、2カ年継続工事の江奈ポンプ場築造工

事を発注するとともに、県の急傾斜工事に伴う大沢地区水道本管移設工事と八木山浄水池急速ろ過器改修工事を行いました。また、伏倉と峰配水池の耐震診断業務の委託を行いました。

さらに、中川地区の水道水に濁りが発生したために、大沢新水源井戸調査業務も発注しました。

水道施設は、昭和30年から40年代に整備された施設が多く、今後も老朽化による改修が必要となつてきます。

これまでどおり経費の節減を行うなど水道事業会計の健全運営に努め、清浄な水の安定供給を図つてまいりますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

【問合せ】

生活環境課(42) 3969

温泉事業会計

現在の契約給湯戸数は、自家用318戸と営業用38戸で、平成21年度は、20万8,000立方メートルを給湯しました。収益は、営業用から自家用

への変更と自家用の廃止が各1件ありましたが、休止中の自家用が売買され、給湯が開始されたことなどで供給収益は微減となりました。また現金の運用も利率の落ち込みはあったものの微増となったため、事業収益は6,579万円の前年比11万円の減にとどまりました。

一方費用は、動力費の減少などにより5,845万円(前年比228万円の減)、純利益は734万円となりました。

今のところ施設は順調に稼働していますが、今後設備の老朽化に伴う改良工事も見込まれることや、供給収益の更なる減少が推測されることから、なお一層施設管理に万全を期すと共に、加入の促進と経営の合理化を心がけ、事業を推進してまいります。

【問合せ】

生活環境課(42) 3969

町営宿泊施設 伊豆まつざき荘事業会計

平成21年度は新型インフルエンザ騒動に始まり、長梅雨、8月の駿河湾沖地震等さまざまな悪条件が重なった1年でした。

そうした中、職員一丸となり、接遇や館内でのおもてなしに配慮し、リピーターの拡大、企画商品の販売を進めてまいりました。

費用面では、食事材料の仕入れ先の見直しや、人件費の削減など経費削減に努め、原油価格も安定したことから前年比約3,500万円の改善ができました。

しかし、平成21年度の宿泊者数は、2万3,414人(前年対比5,194人減)、宿泊利用率は46.9%(前年比10.4割減)と前年度を大きく下回る結果となりました。

この結果収益は3億322万2,129円で、2,083万3,211円の純損失を計上する結果となりました。

平成22年度は原点到立ち返り、体験企画の強化、エージェントセールスの見直しに努

力し、利用者増進を図るとともに、より一層の経費削減を行い、業績の回復を目指してまいります。

【問合せ】

企画観光課(42) 3964

会 計 別 決 算 状 況

単位：千円(税抜)

項目	決 算 額		差 引 (純損益)	前年対比(%)	
	収 入	支 出		収 入	支 出
水 道 事 業 会 計	156,144	132,777	23,367	100.2	97.9
温 泉 事 業 会 計	65,795	58,455	7,340	99.8	96.2
町営宿泊施設事業会計	303,222	324,055	△20,833	83.5	89.9

安全で快適な夏に向けて

夏期対策の概要をお知らせします

7月17日(土)から、松崎、岩地、石部、雲見地区の各海水浴場に監視員が配置され、本格的な海水浴シーズンを迎えます。

松崎町は、この夏の期間、1年のうちで最も観光客が訪れ、地域の人口が急増します。町では、観光客はもとより、町民の皆様が安心して過ごせるように、警察や海上保安部など関係機関と連携を密にし、夏期間中の安全で快適な環境づくりに努めます。

また、水難事故が発生した際に迅速な対応が出来るように監視員には救命講習を受講させ、AED(除細動器)を各海水浴場に設置します。

水質検査結果

賀茂健康福祉センターによる海水浴場の水質検査の結果は、次表のとおり判定され、安心して海水浴が楽しめます。

<参考>
海水浴場の水質の判定基準

区分	ふん便性大腸菌数	油膜の有無	COD(※)	透明度
適	不検出 (検出限界2個/100ml)	油膜が認められない	2mg/L以下	全透 (水深1m以上)
	100個/100ml以下	油膜が認められない	2mg/L以下	全透 (水深1m以上)
可	400個/100ml以下	常時は油膜が認められない	5mg/L以下	水深1m未満 ~50cm以上
	1,000個/100ml以下	常時は油膜が認められない	8mg/L以下	水深1m未満 ~50cm以上
不適	1,000個/100mlを超えるもの	常時油膜が認められる	8mg/L超	50cm未満

(※)CODとは、水の中に含まれている汚れ(おもに有機物の汚れ)を、数値化したものです。

海水浴場の水質検査について
(5月10日採水)

海水浴場名	判定
雲見	適合(水質A)
石部	適合(水質A)
岩地	適合(水質A A)
松崎	適合(水質A)

水上オートバイ対策

近年愛好者の増えている水上オートバイ対策として、松崎海岸ではブイを設置して遊泳区域と運行区域を明確にするほか、監視員による放送、チラシ配布を実施し、海水浴客や漁業関係者とのトラブル・事故防止に努めます。

食中毒防止対策

年間観光客数の3割以上が夏のシーズンに集中しています。このため、賀茂健康福祉センターでは、街頭パレードやポスターの掲出、チラシの配布による広報活動、食品営業施設の監視指導、食品営業者に対する講習会を開催し、食中毒防止に努めます。宿泊施設や飲食店では、衛生管理に留意し、食中毒の防止に努めましょう。

消防防災対策

松崎町消防団では、海水浴場を管轄する各小隊に普通救命講習を受講した団員による水難救助隊を編成し、水難救助の必要が生じた場合、分団長の指示(緊急時は直ちに)

により出動します。

ゴミ対策

7月26日(月)~8月22日(日)の夏期対策期間は可燃ゴミの収集コースが次表のとおり変わります。

また、この期間中は、日曜日も午前8時30分から午前11時30分までクリーンピア松崎への、ごみの持込を受け付けます。

不法投棄防止対策

夏期シーズンは廃棄物不法投棄が多発します。その対策として、例年不法投棄取締りパトロールを実施しています。期間は7月、8月の2カ月間で、不法投棄多発箇所を中心に毎週実施します。

不法投棄を発見した場合は廃棄場所、廃棄物の種類によって土地所有者、関係機関への連絡を行います。また、悪質なものについては警察に通報するなどの措置を講じます。

青少年の健全育成

7月は、青少年非行防止強調月間です。家庭・学校・地域社会で連携し、青少年健全育成および非行防止に努めましょう。

また、松崎町では「あいさつ・返事・後しまつ」を合言葉に、3つの実践運動を展開しています。

大人から積極的に実践し、子どもと関わることで青少年健全育成につながりますので、ご協力をお願いいたします。

【問合せ】

企画観光課(42) 3964



柵田サミット便り 第10号

柵田サミットを町全体で盛り上げよう!

柵田サミット 記念品製作

柵田サミットへの参加者には、毎回開催地から記念品が配布されています。現在、町では10月のサミットに向け、松崎らしい記念品作りが進められています。

いづこいし製作

松崎小学校5・6年生・松崎中学校では、いづこいしの製作が行われています。いづこいしは、「伊豆の小石」と「伊



いづこいし製作

第10号

柵田サミットを町全体で盛り上げよう!

豆恋し」をかけ、デコパージュした小石の愛称で、松崎ブランドにも認定されています。第1回目となる6月9日には、小学5年生2クラス68人が創作者である青森千枝美さん他2名の指導を受けて作業に当たりました。

子ども達は、春や秋の柵田の風景画を丁寧に切り取り、石に貼り付け、ニスを何度も塗り重ね光沢を出し、裏側には「石部」の文字を書きいれました。いづこいしは、1,000個製作され、子ども達のメッセージカードとともにサミット当日に配布されます。

布製コースター製作

石部地区女性会OBや地区住民、町民ボランティアで、柵田サミットを盛り上げようと現在、古い着物や帯、端切れを使った布製のコースター作りが進められています。一つ一つ心を込めて作られたコースターは、いづこいしとともに参加者に配布されます。



布製コースター製作



広告塔・横断幕設置

柵田サミット実行委員会では、第16回全国柵田(千枚田)サミット開催をPRするため、5月末に広告塔と横断幕を設置しました。

広告塔は、高さ3層の木製で、外部と道の駅花の三聖苑の2箇所に設置されています。また、役場庁舎に掲げられた横断幕は横8層、幅1・2層でサミット開催テーマ「柵田が結ぶ、ふるさとの絆くみん」などで創ろう百笑の里」や開催期日が記載されています。今後、のぼり旗も順次設置され、10月の本番を迎えます。

◀庁舎に設置された横断幕



◀道の駅花の三聖苑や外部に設置された広告塔



柵田百笑くらぶ ホタル観察会

柵田百笑くらぶ6月行事のホタル観察会が、6月12日(土)に行われ、児童、保護者など総勢59人が参加しました。

当日は、バス2台で石部の柵田に向かい、くらぶの田んぼ周辺で下田中学校の土屋武彦先生を講師にホタルについての話を伺い、ホタル観察を行いました。

石部の柵田では、ホタルの数が少なかつたものの、次に訪れた雲見の花沢では、数百匹ものホタルを見ることができ

きました。

子ども達は、暗闇に乱舞するホタルを眺め、「天の川みたい」「パレードみたい」と一緒に感嘆の声を上げていました。また、保護者の方も子ども達と一緒に楽しいひと時を過ごすことができました。

柵田百笑くらぶは、小学生を中心に柵田での米づくりを通じた「農」、「食」の学習や柵田を取り巻く「自然」、「文化」、「歴史」などさまざまな学習活動を行っています。今後も、子どもたちの健やかな成長のためにも、皆様のご協力をお願いいたします。



ホタル観察会

【問合せ】

企画観光課 (42) 3964

スクールゾーンの 規制を守りましょう

スクールゾーン規制時間
午前7時30分から午前8時
(土曜・日曜・休日を除く)

松崎小学校の周辺道路は、

歩道がなく、道路が狭いことから、平成15年9月1日からスクールゾーン（歩行者専用道路）として規制されています。

スクールゾーンとは、児童・園児の通学時間に合わせ、車両（自転車を除く）の乗り入れを禁止している区域です。規制時間内に通行できる車両は、緊急車両と許可車両に限られています。



スクールゾーン規制標識



スクールゾーン規制区間（**緑**が規制区間）

規制標識を見落とすことなく、規制時間を守り、児童・園児が安心して通学できるように、決められたルールを守りましょう。

【問合せ】
総務課 (42) 3963

賀茂地域は

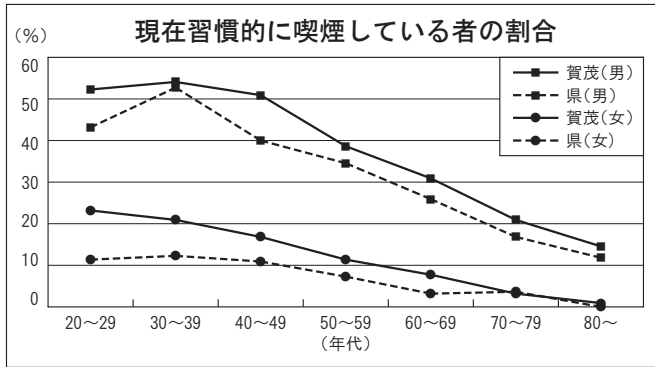
喫煙率が高い地域です

〔平成21年度賀茂地域分煙・禁煙実態調査結果から〕

賀茂地域は、県全体に比べ喫煙者が多い地域です。次表のとおり若い男性の2人に1人、若い女性の5人に1人が喫煙者です。

喫煙者の7割は禁煙したい

喫煙者の7割は禁煙したいと考えており、その理由とし



では、「健康に悪い」「たばこ代がかかる」という調査結果が出ました。タバコが止められない理由は、ニコチン依存と心理的依存の2つの依存のためです。

現代の禁煙治療はそれぞれに対して、薬物療法（ニコチンパッチ、バレニクリン）と行動療法を組み合わせたことで、禁煙初期の不快感を軽減し、無理のない禁煙を可能にします。

賀茂健康福祉センターでは、禁煙外来などたばこに関するご相談を受け付けています。平成22年10月から、たばこ1本5円の値上げとなります。自分のため、家族のために、ぜひ今から禁煙にチャレンジしましょう！

【問合せ】
賀茂健康福祉センター
健康増進課 (24) 2036

百歳のお祝い

齋藤 つやさん (岩地)

(明治43年6月10日生)

6月10日(木)、つやさんの自宅を齋藤町長が訪問し、祝い金と記念品を贈呈して、100歳の誕生日をお祝いしました。

齋藤町長からお祝いの言葉を受けたつやさんは、「長生きの秘訣は好き嫌いなく食べることに、家族が自由に生活させてくれるから」と元気に話してくれました。



【問合せ】
健康福祉課 (42) 3966

松崎町子ども会球技大会

ドッジボール大会



6月13日(日)、勤労者体育館を会場に、松崎町子ども会世話人連絡協議会主催の子ども会球技(ドッジボール)大会が開催されました。

町内の小学生148人が8チームに分かれ、全チーム総当たりで対戦しました。

各チームとも、約1カ月間、放課後を中心に練習に励んだ成果を十分に発揮し、熱戦を繰り広げました。

上位3チームは、いずれも6勝1敗となり、セット率や直接対決の結果により勝敗が決められる接戦となりました。優勝、準優勝の2チームは、7月4日(日)に西伊豆町立賀茂中学校体育館で開催される賀茂郡大会へ松崎町代表として出場します。

優勝

ゴールデンファルコンズ

(道部・江奈浜・西区)

準優勝

SANPOイーグル

(岩地・石部・雲見)

3位

レッドファイターズ

(江奈2・東区・北区・南区)



優勝 ゴールデンファルコンズ



準優勝 SANPOイーグル



3位 レッドファイターズ

【問合せ】
教育委員会 (42) 3971

松崎文芸

俳句

草刈れば飛ぶ紅いろや蛇苺
この胸に飛び付く小犬風若葉
ホトトギス鳴くを記して農日記
早起の楽しみ増やす茄子の花
道下は休耕らしき蛇苺
十華の薔真珠の光かな
郎党の集ふ茶摘みや野の昼餉
娘ら去りてもとの独りや釣忍
良く動く嬰の手足や若葉風
野仏の裾に這ひ寄る蛇苺
沢中の藤房滝糸の如し
蛇苺でこぼこ道の際で摘む
鮎解禁暗き川原に煙火の灯
からまってわが身を増やす蛇苺
青葉して修学旅行のバス並ぶ
夏葎土産にもらふ一握り
早苗饗や昔ながらに主の座

山本武男
小林忠男
稲葉文宇
稲葉菊恵
小林一男
依田ふじ枝
佐藤規矩子
土屋規矩子
吉岡うた子
夏目和子
細矢金治
鈴木すみ江
山本一詞
石田宏
松田美智子
清水高子
斎藤みつ子

7月11日(日)は
参議院議員選挙の投票日です

投票できる方は

平成2年7月12日までに生まれ、平成22年3月23日までに住民になった方。

期日前投票

【期間】 6月25日(金) から
7月10日(土) まで
【時間】 午前8時30分から
午後8時00分まで
【場所】 生涯学習センター
小会議室

入場券について

入場券は、公示の日から数日のうちに郵送されます。

入場券が無くても投票できますので、係員に申し出てください。

【問合せ】

選挙管理委員会 (42) 1111

～ まちのできごと ～



6/6 第12回伊豆松崎町シーカヤックマラソン

全国から約200人の選手が参加し、快晴の下、岩地～波勝崎までの伊豆西南海岸の変化に富んだ海岸線往復14^{キロ}のコースを、楽しみながらパドルを操りました。



6/14 生涯学習ソフトボール春季大会 船田チームが優勝

町内各地区から13チームが参加し、2部制で接戦が繰り広げられた結果、1部リーグでは船田チーム、2部リーグでは金沢チームが優勝に輝きました。



6/16 帯広市から初夏の花「スズラン」届く

帯広市から初夏の花「スズラン」6千本が届き、町内の学校や幼稚園、観光施設などに配布されました。受け取った園児たちは、北の大地からの甘い香りを楽しみました。



6月中旬から 桜葉の漬け込み作業最盛期

松崎町が日本一の生産量を誇る桜葉の塩漬け作業が最盛期を迎えています。漬け込み業者は、30石樽と呼ばれる直径2^{メートル}の大樽へ束ねた桜葉を漬け込んでいます。

山は生命の源

富貴野山21世紀の森には、スギやヒノキが成長した時に、売り払い利益を町と事業に賛同いただいた方で分配しようという趣旨で昭和60年から始めた分収育林があります。

先日、この分収育林の契約期間満了が近づいていることもあり、富貴野山21世紀の森へ現状を確認するために行きました。

分収育林へ到着するまでの山林を見ると、材木の価格が低下したため、手入れがされておらず、日光が入らないために下草も生えず、倒木すら放置されている森林が多く見られました。

山の所々には、炭窯の跡が残っており、普通に行われていた営みが森を健全な状態に保っていたことが想像できました。

森林が荒廃することによって、土砂災害の発生

が危惧されるだけでなく、食べ物が無くなった鳥獣が山から降り、田畑を荒らします。

また、山から流れる養分によって川の生物は育ち、川から流れる養分によって海の生物は育ちます。

山は生命の源です。もう一度、山の恵みを考え直し、山をきれいな状態にすることが、川を守り、海をきれいにし、私たちの生活を守ることになるのだと思います。

町長室からこんにちは ⑦



松崎町長

齊藤 文彦

21世紀 松崎町三つの実践運動「あいさつ・返事・後しまつ」

町の人口と世帯

(平成22年5月31日現在)

()内は前月比

総人口	8,036人	(± 0人)
男	3,807人	(- 2人)
女	4,229人	(+ 2人)
世帯数	3,158戸	(+ 2戸)
転入	21人	転出 14人
出生	4人	死亡 11人

町の交通事故

平成22年5月31日現在

()内は前年同月比

人身事故	2件	(± 0)
物損事故	11件	(+ 6)
死者	1人	(+ 1)
傷者	1人	(- 2)

おくやみ申し上げます(死亡)

地区	氏名	年齢	届出人
南区	大石らく	92	壽久
中村	天田善春	88	正利
道部	土屋清四郎	92	博司
道部	岡村健一	86	光宏
池代	高橋正雄	81	三法
山口	石川昭三	81	義登
池代	関そよ	95	万文
中村	後藤新平	79	伴三

※この欄に掲載を希望されない場合は、お申し出ください。

戸籍だより (5月届出分)

おめでとうございます(出生)

地区	氏名	性別	保護者
北区	ゆう悠 南	女	松原弘之
宮内	はる晴 道	男	久住広人
船田	も萌那 未	女	馬場努
櫻田	ゆ結 愛	女	森崇彦



保健師だより

「歯を大切に」

歯と口は、食事をしたり、会話をしたり、表情を作ったり、毎日の生活で役立っています。

しかし、大人では28本(親知らずを入れると32本)ある歯が、80歳を越えると10本以下にまで減ってしまうといわれています。

歯を失う主な原因は、虫歯と歯周病です。どちらも気づかないうちに進行することが多く、痛みを感じた時にはかなり進行しており、治療せずに放置すると、症状は悪化していきます。

歯周病は、歯をよく磨かない、喫煙、疲労やストレス、不規則な生活、糖尿病などがあるとかかりやすい生活習慣病です。

歯を大切にするため、自覚症状がなくても定期的に歯科医院でチェックしてもらいましょう。

高齢になっても1本でも多く自分の歯が残っている人ほど、老化が遅いと言われています。80歳でも自分の歯を20本以上残すことを目標に、日常行っている歯の手入れを見直してみてもいいかですか。

姉妹都市通信

帯広市から

松崎町から届いた春

5月7日から3日間、JR帯広駅内の「とかち物産センター」において「桜葉商品&十勝の桜葉スイーツ大集合」と銘打たれた物産フェアが開催されました。

松崎町から直送された桜葉の商品や特産品、松崎町の桜葉を使って帯広・十勝の菓子店が作ったスイーツが展示されました。

とりわけ、桜葉が練り込まれたそばに人気が高まり、初日で売り切れになる商品が出るほどの盛況でした。

多くの市民が松崎町から届けられた桜葉を味わう中、時期を同じくして、5月8日に桜の開花が観測されました。

冷え込む日が続いたため平年より1日、昨年より7日遅い開花でしたが、帯広にもようやく春の光景が広がりました。

ちなみに帯広の標準木はソメイヨシノではなく、エゾヤマザクラ(オオヤマザクラ)です。

ソメイヨシノの白い花と比べると、薄紅色でしっかりと色づく花が特徴です。

長い冬に閉ざされ、春の訪れが待ち遠しい北の大地の住民にとって、物産フェアと同時期の桜の開花は、遠く伊豆半島から届けられた二つの「春」あふれる季節を迎えようとしています。



桜が咲いた市内の公園